

# 大館に初の高等教育機関 職能短大4月13日開校

平成三年十一月から二カ年の計画で進められてきた建設工事が予定通り完了し、四月十三日、大館初の高等教育機関として「秋田職業能力開発短期大学校」が開校しました。地域密着型の短大として、即戦力の人材が養成されます。

生産技術科二十二名、電子技術科二十三名、情報処理科二十四名、住居環境科二十三名、産



秋田杉の香りが漂う多目的ホール

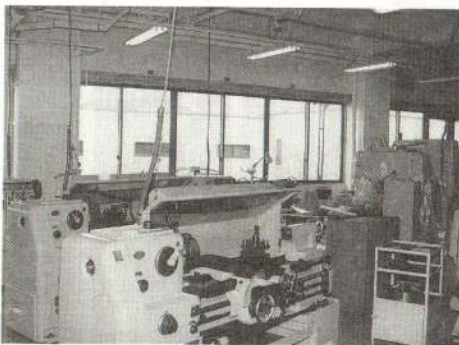
業デザイン科二十四名、合計百十六名が、二十一世紀に求められる「創造力」と「技」を身に付けるために県内外から集まりました。各学科とも最先端の機器をそろえ、実習・実験を一体化させての「実学融合」システムと少人数教育を目指す職能短大。産業構造の変化や技術革新は、二十一世紀に向かってさら

分に磨き、鍛えられることを願います。

## キャンパス広々

### 優しい空間

長根山陸上競技場の約二・五倍の広さに、樹木を豊富に取り入れたキャンパスは、緑豊かな人に優しい空間をつくり出しています。また、本館、実習棟、学生ホール、体育館などからなる校舎は、壁や天井の仕上げに秋田杉が使われ、温かみのある



機械加工実習室。ち密な操作が要求されます

造りになっています。学生寮（カレッジハウス杉風）も完成し、キャンパスには学生の皆さんの活気と希望に満ちた声が響き渡っています。



60人を収容できる学生寮。全室個室です



とんがり帽子の明かり採りは、学生ホール

## 職能短大開校おめでとう！

大館で初めての高等教育機関として、秋田職業能力開発短期大学校がいよいよ開校いたしました。おめでとうございます。職能短大が市民にひらかれた短大として活用されていくことを強く望んでいます。

いままでも、周辺の環境整備を一生懸命進めてきましたが、職能短大で高度技術を身につけた方たちが、この大館に残って、一緒に魅力ある大館をつくってもらえるような環境づくりを、さらに進めていかななくてはならないと考えています。

四月十三日の入学式からキャンパス内で学び、そして語り合う学生たちの活力あふれる声がこだましています。

地方拠点都市をめざす大館にとって、職能短大があたえるインパクトは大きなものがあります。卒業した有能な人材が大館の活力の源となってくれることを期待するとともに、我が街の我が短大として、みんなで支えていきたいと思っています。

## 市長リポート



No.42

小畑 元